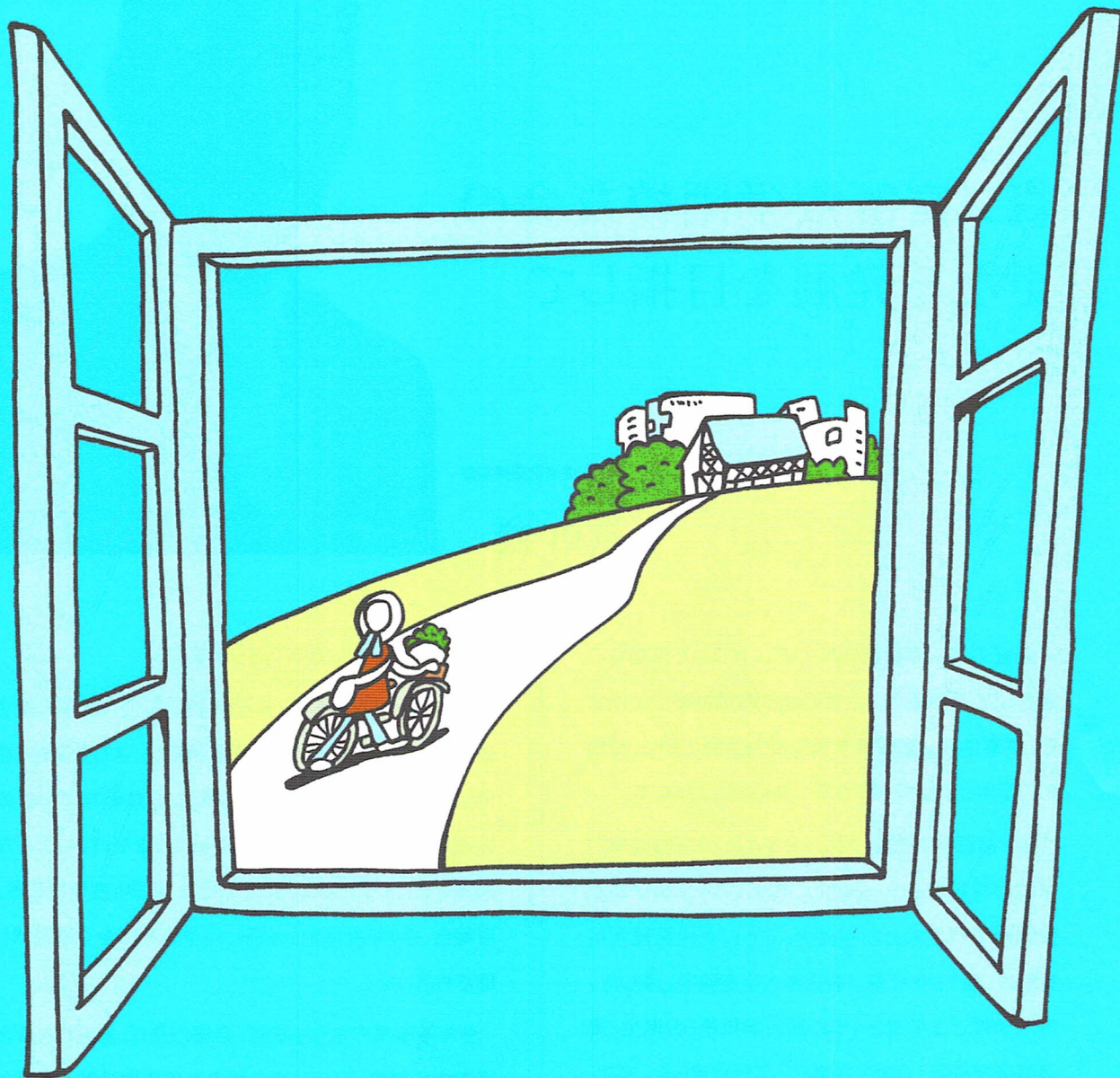


NO. 10 校友会会報

2012 JULY



卒業生インタビュー ————— ● P4・5

セラピストへの道をまい進中! 門地加代さん

クローズアップ ————— ● P7

恩師堺章先生、名誉顧問に就任

校友会情報 ————— ● P2・6・8・9

校友会会長挨拶/校友会から/豊農米通信7/同窓会だより/交流会報告/青春18!?
きっぷの旅-海外編③地球4万キロ!の旅~ドイツ-ブラジル/決算報告/事業報告

寄付金募集について/寄付金申込者ご芳名 ————— ● P23

NEWS&EVENT REPORT

森ノ宮医療大学 ————— ● P10-13

卒業式・表彰者/入学式/大学広報室から/コスモス治療院だより/大学図書館から

森ノ宮医療学園専門学校 ————— ● P14-18

卒業式・表彰者/入学式/国家試験結果/第5回森ノ宮柔整学会大会/第61
回全日鍼灸学会報告/セキュリティ開始/学生支援課から/広報室から

INFORMATION ————— ● P19・20

治療室におすすめBook・CD/出版部書籍案内/学園推薦入試/アロマ
市民公開講座/TPTセミナー/みどりの風保育園

みどりの風クリニックだより ————— ● P21

アスリートをサポート/漢方医からのアドバイス/心に残る症例③

平成23年度決算報告概要 ————— ● P22

平成25年度入試概要 ————— ● P24

森ノ宮医療学園校友会の 更なる発展を目指して

森ノ宮医療学園校友会
会長

浜田 暁



盛夏の候 会員諸兄姉におかれましては益々ご清祥にてご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。平素は森ノ宮医療学園校友会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

森ノ宮医療学園は、昭和48年4月、大阪鍼灸専門学校が発足をスタートとし、平成12年に森ノ宮医療学園専門学校と名称変更、さらに柔道整復学科を開設、同19年に森ノ宮医療大学を開学しました。専門学校では平成24年に鍼灸学科第39期生、柔道整復学科第10期生が巣立って行きました。また、森ノ宮医療大学においても今春6期生が入学し、満5年という佳節の年を迎えましたことは慶びに堪えません。この間、学園においては、一貫して修学環境の改善と教育内容の充実はもとより、規模の拡大が図られ、今日に至っております。

こうした状況の中、校友会でも、専門学校の正会員は4351名、大学は223名、それぞれが社会で精力的に活躍しております。校友会全体では学生会員は計1606名を数え、特別会員の教職員を含めますと6千名を遥かに超える大所帯に成長し、その役

割の重要性が増してきております。

そういう状況を鑑み、去る5月20日(日)開催の総会において、毎年増え続ける会員を視野に、より効率的、機動的に活動できるよう会則を見直し、それぞれの部会単位の活動の推進と代議員の定数等の改正を行い、新たな代議員を選出いたしました。そのほか、23年度事業報告、決算報告、24年度事業計画案、同予算案が全て原案通り承認されました。

今年度事業の主なものは、会報の発行、部会ごとの学術講演会の開催、卒業生や在校生への支援活動と表彰があります。交流会の開催につきましては、11月3日の大阪開催とともに、和歌山県と中国地区の3箇所を予定しております。皆様、どうぞ奮ってご参加ください。また、23年度事業の一環として行ってきました会員名簿の発行につきましてもまもなくお手元に届くことと存じます。同窓会の呼びかけ等でご活用いただけましたら幸いです。

今後とも、学園と協力、連携しながら役員一同、会務を進めてまいりますので変わらぬご支援を伏してお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

校友会から

校友会鍼灸室をご活用ください！

校友会鍼灸室は卒業生支援の一環として設置した時間貸し施術所です。

校友会会員であり、はり師及びきゅう師の免許を取得されている方であれば、簡単な登録で使用することができます。また卒業後の開業等についてのご相談も随時受け付けていますので、皆さんどうぞご利用ください。

活用例

- 出張・往診を主体としているが、来院を希望する患者さんへの対応として。
- 卒業後の友人と鍼灸治療の練習場所として。
- 開業準備の期間、一時的に使用したい。
- 他院に勤務しているが、知人や個人的に診ている患者さんを治療する場として。

登録方法

登録には以下の必要書類を準備・記入していただければ即日利用することができます。

1. 利用申請書
2. 誓約書
(※1,2の用紙は校友会鍼灸室に設置。ホームページからダウンロードもできます)
3. 賠償責任加入済み証明書
登録の際には鍼灸賠償責任保険に加入証明書(コピー可)が必要。
4. 本人確認証明書: 運転免許証・健康保険証・パスポート等
5. はり師・きゅう師免許証 (原本もしくは原本証明されたコピーを2部)

利用規定

- 鍼灸室利用可能時間: 平日9:00~21:00 土・日9:00~17:00
- 休室日: 不定休
- 利用料金 登録料: 無料 利用料: 患者さん1人につき300円



問い合わせ・連絡先

所在地: 大阪市東成区中本 2-5-41 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎
TEL06-6976-6000 / 管理担当: 伊藤 ※管理人在室時間: 月・水・金: 14:00~16:00
■ ホームページ / 校友会鍼灸室 <http://morinomiya1973.web.fc2.com/>

農農米通信 ⑦

ミント米に挑戦!

専門学校鍼灸学科第2期夜間部卒業
杉原 朝香

昨年の文化祭では、農農米(玄米・白米)、枝豆、西条柿、くるみ、うめぼし、サツマイモ、トマト(サンマルツァーノ)を委託販売(!?)し、売上金は義捐金にさせていただきました。

米作りで雑草に苦労することはいつも言っていましたが、草ばかりでなく虫たちにも苦労します。

その代表が、カメムシにウンカ。このカメムシ君、出穂期から乳熟期にかけてもみを吸汁し、斑点米など米の品質を低下させます。そこで、カメムシ駆除。駆除と言っても殺すのではなく、どこかに行ってもらおうのが、農薬を使わない農農倶楽部の方針です。

ちょうど九州前原産のミントを頂いていたので、そのミントを挿し木で増やしてカメムシ君の住処である畦草が生えている畦にセッセと植えました。そうすると、なんとということでしょう、ミントの香りを嫌うカメムシ君はどこかに行ってくれる、はず。

なに? 植えただけでは効果が薄い!? すでにミント米と言って、付加価値の付いたブランド米を生産している長野県のお百姓さんサイトに出ています。つまりミントを雑草と共に刈ることによって、その強烈な臭いによりカメムシ君が退散するそうです。しかし、横着な私にとって草刈りは難問であります。とにかく、ミントを植えてみます。

こうして出来上がるであろう農農米を、本当は田舎のベンツ軽トラキャリアー4Wに載せて学校前で叩き売りしてみたいのですが、行事が重なって…。他にも農農イモ、農農レタス、農農キャベツ、農農力ボチャ等々。今年は、鳴門金時を100株植えました。期待してください。

こんな事やっている農農倶楽部です。農農ファームの見学、体験大歓迎です。いつでも連絡ください。今、農農無農薬田圃は、ホタルが乱舞しています。



植えつけ用の筋を引いているところ
(第7期安徳信二さん撮影)

農農倶楽部事務局 広島県府中市上下町上下1869 スギハラ鍼灸院上下治療室内 TEL:0847-62-4272

セラピストへの道を まい進中!

卒業生インタビュー



かど ち かよ
門地 加代さん

森ノ宮医療大学第1期生
理学療法学科卒業

森ノ宮医療大学第1期生が巣立って2年。各々が自ら選んだ場所で、理想とする医療人像を胸に、日々努力している様が伝わってきます。今号は、そのなかからトップバッターとして門地加代さんを職場に訪ねました。

学校説明会が決め手になった

理学療法士を目指そうと思った直接のきっかけは、高校生2年生の時にケガをして、理学療法士さんにお世話になったことです。当時私はバスケットクラブの副キャプテンで点取り屋的な存在だったのですが、ケガが原因でチームはバラバラになるし試合にも負けるので、心底落ちこみました。そのとき、リハビリで身体を治していただきながら、精神的にも落ち込んで自暴自棄になってしまう一歩手前で気持ちを持ち上げてくれたり、絶妙なタイミングで支えてもらいました。それで、「ああ、この仕事に就きたい!」、患者さんに寄り添える理学療法士、セラピストになりたいと思ったのです。

森ノ宮医療大学は初めて募集を行う新設校で学校説明会には父と参加しました。学舎も建設中、説明会会場はWTCビル(現大阪府咲洲庁舎)20階でした。理学療法学科の説明で中川司先生が「きちんと患者さんに寄り添える臨床家を育てます」と熱意を込めて語られるのを聞いて、ここだ!と。父も「中川先生の下だったら、娘を預けてもいい!」と思ったようでした。出身高校は進学校で、進路指導の先生方からは偏差値や知名度の高い他大学を勧められましたが、私の目的は理学療法士になることだったので、迷いはまったくありませんでした。

試行錯誤の1年目

阪和記念病院へは卒業を目前にした3月中旬から研修に入っており、国家試験の合格発表もリハビリテーション部の海瀬課長と一緒に見ました。4月に正式に入職して即現場でした。最初は先輩の担当されている患者さんを一緒にみせていただいて、それから徐々に自分がメインになってみるようになって、とりあえず立ちまわらせてもらったのは夏くらいですね。もちろん遠くで先輩方は見られているのですが。

学生時代、臨床実習はかなりハードで、心因性の腹痛になったりもしましたが、今思うと先生方に守られていたと思います。しかも骨折や膝関節症など主に整形外科の領域や脳梗塞後の機能回復などで、症状も比較的落ち着いている患者さんでした。それが一挙に心臓や脳の緊急手術後、多くの器機につながれ、それらの数値を見てカルテと突き合わせながら、患者さんの身体に触れなくてはならない。それはもうパニック状態でした。先輩方に聞きながら、また大学へも専門書を借りに行き先生方に相談に乗ってもらったりしました。全部答えをくれるわけでないですが、何気ない言葉も重要なヒントになったし、学生時代に先生方に言われた言葉の意味も実際に臨床に入ってわかったことがたくさんありました。

救急病院ならではのやりがいと難しさ

阪和記念病院は救急指定病院なので、24時間急を要する重篤な患者さんが運ばれてきます。即緊急手術という場合も多くて、手術の直後にリハビリのオーダーが入ることも日常です。人工呼吸器や点滴の管をたくさん付けられて、意識もない状態でも、身体は固まってしまうので、ベッド上で関節を柔らかくしたりする必要があります。最初、リハビリを命じられたときは、どうしたらいいかわからなくて、固まりました。

忘れることのできないことは、担当していた患者さんがリハビリ中に急変して意識低下を来されたのです。予想もしてなかったことで、ショックで涙が止まりませんでした。そのとき先輩に言われたのは、「待っている患者さんがいる」、「君がいなかったら亡くなっていたかもしれない。リハビリ中でよかった」と。涙を止めて、リハビリを待っている患者さんのところに向かいました。それから公私ともに何があっても、就業時間内はそれに引きずられずに「プロになってやりきる」ように努めています。

第一目標は「リハビリしたいと思われる人になる」

リハビリは患者さん個々に担当が決まって、退院されるまでほぼ変更されません。毎日接することになるので、担当者として認めてもらうことが第一です。患者さんにとって担当者が嫌だったらリハビリも嫌なものになってしまいますし、それは本当にマイナスです。

今担当している患者さんは7名ですが、皆、それぞれ疾患も違うし、タイプも違います。最初は患者さんとの距離感がわからなくて、話し言葉から、どこにどう座るかまでどうしたらいいか悩みました。

技術や知識は先輩方の足元にも及びません。それでとにかく「リハビリに行きたいなと思ってもらえる担当者になる」と目標を決めました。最近ですね、少しだけわかってきたのは、心を許していただけるようになって、ようやく何気ない会話ができるようになってきました。また来るわと言いながら、リハビリ室を出て行かれるのは嬉しいですね。



脊髄損傷で救急入院された患者さん。腰から下がまったく動かせなかったが、数カ月が過ぎてようやく車椅子で移動ができるようになり、リハビリもスムーズに行くようになった。



リハビリテーション室の先輩後輩とともに。

患者さんが本当に望むものは？

理学療法士は理学療法で機能を回復させるのが仕事ですが、患者さんはもしかしたら、10分間歩けることより車椅子でももっと楽に動ける生活のほうが良いと思っておられるかもしれない。起きられるようになったら、次は歩けるように…と私たちは考えますが、それは実はこちらの勝手な思い込みかもしれないのです。大学の先生もおっしゃっていましたが、先輩からもそう言われて、今、「患者さんあってのリハビリ」ということを改めて考えています。

本心とは逆なことを言われる患者さんもおられるし、実際痛みを耐えてモチベーションを保ち続けるのは大変です。だから、高校2年のときにお世話になった理学療法士さんがそうだったように、まず医療人であって、そのうえで理学療法士。そうなりたいと思っています。

この病院には目標とするすばらしい先輩方がたくさんおられるので、とにかくなんでも吸収していこうと思っています。もう後輩が入ってきているのでしっかりしなくては!

大学のゼミで情報交換

かつては救急で入院されて、ICUから一般病棟に移られ最後に歩いて退院されるまでトータルでみることでできたけれど、今は違います。急性期病院では大体入院後3カ月で退院されて、回復期の病院に入院されたり、自宅療養ということになっています。それで回復期の病院や老人ホームに勤めている友人たちと情報交換して、急性期以後についても知っておくのは大切だと先輩にも言われて、毎月、大学の中川先生のゼミにも参加させてもらっています。

森ノ宮医療大学は先生と学生との距離が近くて、卒業しても気兼ねなくおしゃべりに行けます。クラスメイト同士も仲良く、今度、1期生全員で集まるかと計画しているところです。

医療法人 錦秀会 阪和記念病院

住所 〒558-0011 大阪市住吉区刈田7-11-11

電話 06-6696-5591 FAX 06-6607-1993

緊急を要する患者を受け入れる第2次、第3次救急指定病院。

診療科目:脳神経外科・内科・循環器科・泌尿器科・心臓血管外科・

リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

同窓会だより

貴重な情報交換の場

専門学校鍼灸学科 第24期夜間部卒業 **片山 怜子**

この冬で一番寒いと言われた2月18日、大阪梅田の海鮮焼&家庭料理の店「こいさん」に24期夜間部のクラスメイト9名が集まりました。今回の同窓会は急遽、決まったため、皆に連絡が行き届かないということもありましたが、和歌山、兵庫、さらに遠く広島からも駆けつけてくれて、料理を堪能しながら日々の治療や、業界を取り巻く厳しい現状について語り合いました。



参加者 東健・池田明博・北島亮・梶見智也・西田幸司・西山良平・林征輝・山根史久・片山怜子 (計9名)

卒業後3年、近況を報告し合う

専門学校鍼灸学科 第33期アドバンスコース卒業 **小澤 侑貴子**

11月20日、卒業して3年が過ぎ、それぞれの地でどんなふうに活躍しているか、近況報告をかねて集まろうと皆に呼びかけたところ、クラスの半数以上17名が集まりました。また尾崎朋文先生をはじめ恩師の先生方もたくさんご参加くださり、話も尽きることなく有意義な時間を過ごしました。これからも交流の機会を作っていきたいと思っています。



参加者 有田朋史・今井大由・上原邦仁・岡愛恵・小澤侑貴子・勝間優・紀野江理・栗野智絵・小林(高木)郁生・阪本給理・玉島潤・西川美枝子・西木正一郎・二村(木内)巴英・眞鍋豊明・村瀬麻里・柳田聡輝 (計17名)
来賓 尾崎朋文先生・森優也先生・南方克之先生・松熊秀明先生・川鍋史一先生

古希と市議任期満了、ダブルでお祝い

専門学校鍼灸学科 第9期昼間部卒業 **香田 一雄**

平成23年10月29日、専門学校鍼灸学科3期夜間部松本世生さん、4期昼間部片岡政裕さんのお二人が古希を迎えられ、さらに松本世生さんが任期満了で市議員を引退されたのを祝って同窓会を開きました。会場は、佐世保ならではの米軍基地内のレストラン「ハーバービュー」。7期夜間部の中村さん、16期昼間部の白川さんは夫人同伴で出席され、華やいだ雰囲気の中、楽しく過ごしました。



参加者 松本世生・片岡政裕・中村陽一(えり子さん)・香田一雄・白川広(潤子さん) (計7名)

卒業後半年にして同窓会!?

専門学校鍼灸学科 第36期昼間部卒業 **岩井 隆明**

10月22日、卒業して半年、クラスの面々と集まって近況報告し合いたいと同窓会を企画し、15名が集まりました。久しぶりにクラスに戻ったようで、ワイワイ楽しいひと時でした。次回はもっと多くの仲間の参加を期待しています。



参加者 荒木善行・池内敬・岩井隆明・岡田麻由子・岡村孝子・加治木律子・鎌田紗絵・川田大輔・久保田(中澤)秀一・桑原 章・小牟礼隼人・柴田祐希・高津宏介・徳永千紗・室谷亮介 (計15名)
来賓 森優也先生・志埴清湖先生

第7回地方交流会
～金沢にて～
平成23年9月18・19日(1泊2日)

専門学校入試担当 **北村 知子**



23年度は金沢。満面の笑みで再会し、さあ積もる話を…といきたいところ尾崎朋文先生の「鍼灸臨床におけるリスクマネジメント」の講演からスタート。皆、重要なテーマに熱心に耳を傾けていました。その後、親睦会では近況報告から昔話、さらに新たな出会い…と有意義なひとときを過ごしました。二日目は、兼六園見学と和菓子作り体験。兼六園では、雨に濡れた木々がより一層色鮮やかな緑となったなかを、思い出話を聞きつつ散策しました。さていよいよ和菓子作り。職人

さんの手元が映し出される大画面を見つつ、餡を丸めたりくっつけたり…3種類の和菓子が立派においしそうに完成。流石!皆さん手先が器用で繊細です。



完成品実物。左から紫式部・姫菊・夕暮れ

24年度は和歌山と中国方(広島)を予定しています。皆さん!ぜひ「連れもっていらあ」

恩師堺 章先生、名誉顧問に就任

森ノ宮医療学園専門学校副校長 尾崎 朋文

ユニークな先生

「ユニークな先生!」—37年前、本学に入学し、堺 章先生の解剖学の第1回目の授業を受けた印象である。

当時、席は決まっておらず、いつも最後尾の席に陣取って寝ていた(私はまじめな学生ではなかった!)。しかし堺先生の講義は最前列で聴講した。なぜなら大阪大学教授(現名誉教授)とは思われないユニークなもので、例えば、先生ご自身が執筆された解剖学書を教科書とするものの、中枢神経を説明されているかと思うと急に頭蓋骨の孔や血管の話になり、さらに教科書の何ページを開いてと話が自由自在に広範囲に飛び、しかもそれらが親しみやすい大阪弁で語られたからである。後にわかったことだが、それらは全て解剖学に興味を持たせるための堺先生の配慮であった。

また、高度な内容を平易に解りやすく説かれるのもさることながら、たとえ話や逸話、トピックス、時に戦時中の話…ウィットに富んだ鍼灸の話などが早口で次から次に出てくる。一見、話が横道にそれるように思えることも多いが、それがまた何ともいえない魅力となって講義を面白くさせた。そのお陰で、解剖学の重要なポイントも鮮明に記憶に残った。

知識の該博さは驚くばかりで、それらをいつ、どこで仕入れるのですかと尋ねると、新聞や本学の卒業論文集や「鍼灸Osaka」、校友会会報などで、必要とする部分をスクラップして保管しているとのことだった。また学生たちに興味を持たせるために臨症的な話を、例えば骨学や筋学では骨折した場合は筋がどう収縮するかといった説明を入れるよう心がけておられた。つまり、オーソドックスな解剖学に応用解剖学的な面を加味されていたのだった。

堺章先生は、滝野憲照先生(関西鍼灸専門学校校長)のご長男と同期で、子どもの時から小児鍼を受けられ、病気の時は西洋医学だけでなく、鍼治療を受けた経験があるとのこと。昭和42年(1967年)から明治東洋医学院で解剖学を教えられ、昭和48年(1973年)の本学創立時には講師の確保に尽力していただいた。

解剖学見学実習の礎

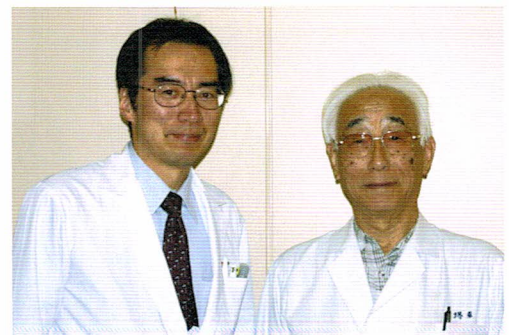
堺先生は学生たちに解剖学を通じて専門的知識の習得と、医の哲学や倫理との一元化に精魂を傾けられ、昭和39年(1964年)献体団体「大阪大学白菊会」の創設と運営全般に尽力された。

私自身も教育現場に身を置く立場になり、刺鍼の安全深度や刺鍼ポイントには局所解剖のイメージが必要と考え、本学園森俊豪理事長、講師の竹下イキコ先生らが大阪大学歯学部第2口腔学教室で研修されていたことから、堺先生にご相談し、自らも参加させていただくことにした。堺先生退官後は、重永凱男教授(故人)、吉田 篤教授に熱心にご指導いただき、専修学校の研修員として30年近くお世話になっている。

私たち研修員、コメディカルの学生が、解剖見学という貴重な体験ができるのも、堺先生と大阪大学白菊会の会員の皆様のご理解によるところが大きい。改めて感謝する次第である。

堺先生に恩恵を受けた者は数限りない。本学園の大学・専門学校の教員のほとんどが先生の薫陶を受けていると言っても過言ではない。

振り返ると、40年があっという間であったように感じる。教え子の一人として、堺先生のますますのご健康とお幸せをお祈りする次第である。これからは本学園の名誉顧問としてコメディカル教育のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。



堺章先生略歴

- 昭和24年(1949年)3月
大阪大学医学部医学科卒業
- 昭和25年(1950年)7月
第8回医師国家試験合格
- 昭和25年(1950年)8月
大阪大学医学部解剖学第3講座助手
- 昭和32年(1957年)6月
和歌山県立医科大学解剖学第2講座助教授
- 昭和35年(1960年)3月
医学博士の学位授与
- 昭和36年(1961年)11月
大阪大学医学部解剖学第3講座助教授
- 昭和42年(1967年)4月
大阪大学歯学部口腔解剖学第2講座助教授
- 昭和44年(1969年)10月
大阪大学歯学部口腔解剖学第2講座教授
- 昭和48年(1973年)4月
大阪鍼灸専門学校
(現 森ノ宮医療学園専門学校)講師
- 平成元年(1989年)3月
大阪大学定年退官
- 平成18年(2006年)春
瑞寶中綬章叙勲
- 平成24年(2012年)4月
森ノ宮医療学園名誉顧問

専門学校鍼灸学科第3期 昼間部卒業・森ノ宮医療学園出版部 井上 悦子

昨秋、ドイツとブラジルを訪れる機会があった。ドイツでは国際日本伝統医学協会の第1回国際会議※が、続けてサンパウロではWFAS(世界鍼灸学会連合会)の学会が開催されることになっていて、フランクフルト経由でサンパウロまで飛ぶことにしたのである。日本からフランクフルトまで飛行機で12時間、フランクフルトからサンパウロまでも12時間である。

※詳細は、『鍼灸OSAKA』誌104号(2012年3月刊)を参照ください。

日本からサンパウロまでの往路で利用したルフトハンザ機はとても快適で、特に嬉しかったのは機中で小さな羽枕を貸してくれたことであった。また機内ではフェルデンクライスメソッドに倣って姿勢を色々変え、腰痛や背部痛も起こさず元気に目的地に到着した。サンパウロの空港には、日系2世の私の母方の従姉とその息子が迎えに来てくれていた。

喧騒と活気に満ちたサンパウロ

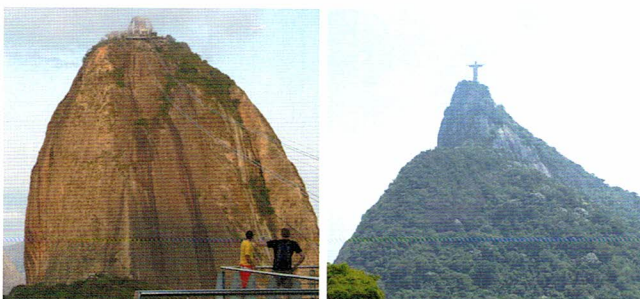
ブラジルの国土は日本の約22.5倍、人口約1億9000万人。そのほとんどが大都市に集中しており、高層ビルが林立するサンパウロの町も車と人でごった返し。日本人街リベルダージはいつ行っても人がラッシュ時のような賑わいで、車のマナーの悪さは北京に負けず劣らずという印象。それら喧騒と活気は、この国の経済発展を如実に反映していると感じた。

ところで日系の人たちは、一様に美しい日本語を話し、その道徳感はずいぶん「古き良き日本の」と形容されるもので、ブラジルの地で純潔が保たれた日本人という感を強くした。サンパウロ、リオデジャネイロの町で出会う見知らぬ人たちに、私をアテンドしてくれた日系人が、私のことをさも誇らしそうに「日本人だよ」と紹介した。日本人はこの国では保証書付きの特別の人種であるということらしい。

紺と白の絶景リオ

学会終了後、500kmほど離れたリオデジャネイロに十川友一氏(サンパウロとリオデジャネイロで鍼灸関連の道具や書籍を販売する会社のオーナー)が私を車で連れて行ってってくれた。彼は10数年前、故森秀太郎をリオに案内したという。

ソフィア・ローレンが「世界一美しい都市」と言っただけあって、リオは果てしなく続く紺碧の海と白い建物のコントラストが絶景するほど美しかった。ニテロイの岬からはかの有名なコルコバードのキリスト像も数センチほどにしか見えないが、近づくと、よくもこんな大きな像を山の頂上に建てたものだと感心する。その向いにそびえるポン・デアスーカル(棒砂糖山)にロープウェイで登った。霧の立ち込めたその岩山の周囲では『ハリーポッター』や『アバター』に出てくるような怪鳥が飛び交い、映画の世界に迷い込んだような錯覚に襲われた。



ロープウェイで行く岩山 ポン・デアスーカル 遠くに見えるキリスト像

十川氏は、ブラジルの鍼灸事情はもとより歴史や芸術、心理学にも造詣が深く、往復千kmにも及ぶドライブの間、ブラジルや日本のこと、鍼灸や人間、さらに見えない世界の話…と話題は尽きなかった。地図で見るサンパウロとリオを直線で結ぶハイウェイは気の遠くなるような距離に思えたが、彼の寝物語!?で短く感じられた。夢の中で覚えているのは、「小さな鳥の羽ばたきひとつでも、風を起こし、地球の気象を変えてしまうことがある」という話。微細な刺激がダイナミックに人のからだを変えていく鍼灸の世界と通じているようで興味深かった。

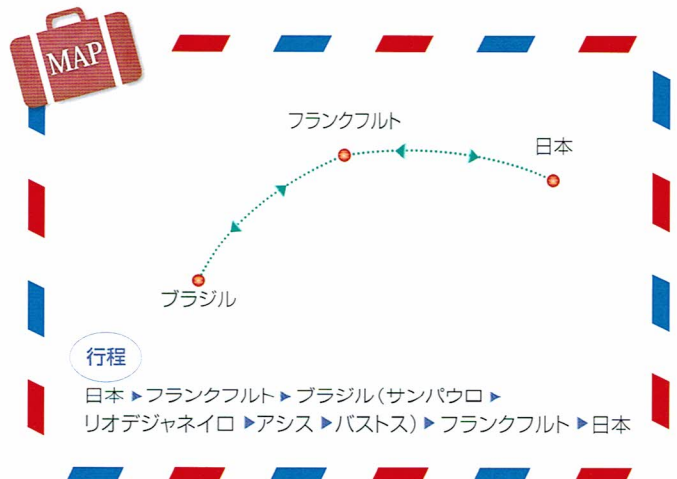
アシス〜父秀太郎に出会う



サンパウロに一旦戻った後、さらに500km離れたアシスにある従兄の大農場を訪ねた。従兄は半年ほど前に86歳で亡くなったが、その地平線まで見晴るかす広大な農場では現在その娘夫婦が数人のブラジル人従業員とともに巨大なトラクターを使って大豆を栽培していた。父・森秀太郎が生前、ブラジルで農場か牧場を買いたいと言っていた気持ちが理解できた。アシスでは、従兄の娘の一人がマッサージと指圧のオフィスを開業していた。壁面に父秀太郎の書が飾られていた。地球の裏側で父に出会うことになろうとは思ひもよらなかった。

リオ〜サンパウロ〜アシス〜バストス(日本人が開拓した町。養鶏場で有名)まで往復2千km以上のドライブをした後、地球の裏側、日本への帰路についた。

ブラジルの広く美しい国土、豊かな農産物、豊富な地下資源、経済発展の予感、そしておらかな国民性に魅了され、5年後には移住を!という夢を抱かせてくれた旅であった。



森ノ宮医療学園校友会 平成23年度決算報告 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

● 収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算比差額	備考
前期繰越金	43,263,992	43,263,992	0	
普通預金	28,263,992	28,263,992	0	
預け金(学校)	15,000,000	15,000,000	0	
前期末未収入金	0	0	0	
前期末未払金	0	0	0	
収入合計	25,410,000	25,773,230	363,230	
会費(入会金)	25,000,000	25,220,000	220,000	大学、専門学校
交流会収入	100,000	101,000	1,000	交流会参加費
預金利息	10,000	4,380	-5,620	普通利息
雑収入	300,000	423,200	123,200	校友会鍼灸室使用料など
雑益	0	24,650	24,650	保険掛金戻り
合計	68,673,992	69,037,222	363,230	

● 支出の部

(単位:円)

項目	予算額案	決算額	予算比差額	備考
会報発刊費	2,600,000	2,621,750	21,750	会報印刷代年2回
名簿発刊費	3,500,000	326,474	-3,173,526	発刊費(作業中)
学園施設補助	1,800,000	1,700,000	-100,000	メディアカフェ 購買部
通信費	1,800,000	982,591	-817,409	会報他郵送代
会議費	500,000	168,000	-332,000	役員会等会議費
慶弔費	450,000	48,384	-401,616	7件
クラス会助成金	200,000	140,000	-60,000	7件
卒業表彰会長賞	200,000	120,225	-79,775	卒業式
学生福利厚生費	4,000,000	2,275,920	-1,724,080	学生診療一部負担金
卒後研究費	1,000,000	487,000	-513,000	解剖見学・愛媛
学術講習会費	3,000,000	1,881,573	-1,118,427	柔道整備部会など
交流会費	1,100,000	916,209	-183,791	ホテルニューオータニ大阪
各地域交流会費	500,000	497,600	-2,400	北陸地区交流会
卒業生支援費	3,000,000	2,507,169	-492,831	校友会鍼灸室運営・消耗品など
校友会会員表彰	300,000	0	-300,000	※執行なし
役員活動費	500,000	284,000	-216,000	地区交流会など
雑費	100,000	7,135	-92,865	振込み手数料他
予備費	150,000	0	-150,000	
未払金	1,029,780	1,029,780	0	代位弁済・慶弔・リーフレットなど
雑損失	0	1,215,859	1,215,859	奨学金代位弁済
合計	25,729,780	17,209,669	-8,520,111	

次期繰越金	42,944,212	51,827,553	8,883,341
普通預金	27,944,212	36,827,553	8,883,341
預け金(学校)	15,000,000	15,000,000	0
期末未収入金	0	0	0
期末未払金	0	0	0
小計	42,944,212	51,827,553	0
合計	42,944,212	51,827,553	-8,520,111

平成23年度決算書に
相違ないことを認めます。

平成24年4月20日

監査役 山本 勲 藤川直孝

平成23年度事業報告

【代議員会】(6月5日)議題:第1号議案 平成22年度事業報告/第2号議案 平成22年度会計報告/第3号議案 監査報告/第4号議案 平成23年度事業計画案/第5号議案 平成23年度予算案/第6号議案 その他

【役員会】第1回(5月25日)議題:第1号議案(同上)/第2号議案(同上)/第3号議案(同上)/第4号議案(同上)/第5号議案(同上)/第6号議案 校友会奨学金について 第2回(12月17日)議題:第1号議案 代議員選出方法について/第2号議案 名簿発刊について 第3回(2月22日)議題:第1号議案 役員の変更/第2号議案 名簿作成進捗状況/第3号議案 代議員選出について

【実施事項】会報発行 2号発行(No.8・No.9)/校友会員の慶弔 7件/同窓会助成 7件/卒業生表彰(校友会会長賞) 5名/学生福利厚生(附属診療所での助成)/卒後研究 大阪大学歯学部解剖見学実習(6月25日:大学10名・専門2名参加)、愛媛中央病院研修(1名参加)/学術講習会(後援)[第4回森ノ宮柔道整備学術集会(5月15日)・校友会学術集会(6月5日)・みどりの風クリニック第1回・第2回臨床研究会(7月23日・11月26日)・同新卒者研修会(3月24日)]/交流会 ホテルニューオータニ大阪(11月3日:約100名参加)/地域交流会(北陸地区9月18日~19日:約20名参加)/卒業生支援 鍼灸室卒業生向け貸しベッド登録者総数約50名・卒業生向け開業相談など

その他[名簿発刊(2012年度版※実際の発刊は平成24年度会期中)/卓上カレンダー制作/学園施設支援2件(メディアカフェ・専門学校購買部)/奨学金事業(オリエントコーポレーションと連携)]

森ノ宮医療大学

MORINOMIYA UNIVERSITY

平成23年度 第2回卒業式

3月15日(木)、森ノ宮医療大学第2回卒業式が、ハイアットリージェンシー大阪(住之江区)で行われました。晴れやかな雰囲気の中、本学と相互連携協定事業を推進する大阪府立急性期・総合医療センターの吉岡敏治院長、同副院長・看護部長の藤本陽子氏をはじめ鍼灸師会、理学療法士会等から来賓を迎え、教職員、保護者の皆様に見守られながら、第2期生120名(鍼灸学科61名・理学療法学科59名)が巣立っていきました。

式典では、荻原俊男学長から「昨年の未曾有の大災害が日本人の心に残したものを医療人としてしっかり受け止め、思いやりと感謝の心を忘れずに精進してほしい。社会の現場でぶつかるさまざまな困難にくじけることなく、明るい笑顔を忘れずに森ノ宮医療大学卒業生としての誇りを持ってすばらしい人生を歩んでほしい」と激励の言葉を贈られ、鍼灸学科・渡邊響子さんが笑顔を忘れず精進していくことを誓いました。

式典の後は、同会場にて卒業祝賀会が行われ、卒業生たちは4年間を振り返りにぎやかに歓談しつつ、恩師や級友たちとの再会を約束し散会しました。



第2期卒業生表彰者

理学療法学科		鍼灸学科	
最優秀賞	疋田垂由美	最優秀賞	奥野 駿
優秀賞	下村 恵梨	優秀賞	渡邊 響子
日本理学療法士協会会長賞	宮脇 一徳	日本鍼灸師会会長賞	小川ひとみ
日本リハビリテーション学校協会会長賞	竹下 優香	大阪府鍼灸師会会長賞	木下 千加
		全日本鍼灸マッサージ師会会長賞	荒木 輝之
		大阪府鍼灸マッサージ師会会長賞	伊勢田友里
		全日本鍼灸学会会長賞	日下 有希

平成24年度 第6回入学式

4月3日(火)、森ノ宮医療大学第6回入学式が大阪・南港(住之江区)のハイアットリージェンシー大阪で行われました。

今年度、迎えた新入生は鍼灸学科59名、理学療法学科68名、看護学科88名、大学院1名の総勢216名。鍼灸学科入学の萩原彩さんが、新入生を代表して誓いの言葉を述べ、新入生一同、気持ちを新たにしていました。

式辞では新入生へのお祝いの言葉に加えて、森俊豪理事長より、看護学科および大学院修士課程を開設し、さらに、南校地を確保する等、極めて短期間に大学教育環境の拡充が進められたことに対し、臨席を賜った皆様へ感謝の言葉が述べられました。



大学広報室から

オープンキャンパスで東西医療をW体験

『森ノ宮だからできるスペシャルコラボ～東西医療体験!』と題し、6月16日(土)は「看護×鍼灸をW体験」できる、17日(日)は「理学療法×鍼灸をW体験」できるオープンキャンパスを開催しました。両日共に150名を超える高校生・保護者の皆様が来場され、16日は「赤ちゃんケアにおける鍼灸と看護のコラボ」をテーマに小児鍼の講義と実技、沐浴や抱っここの赤ちゃんケア、手指衛生を。17日は「呼吸器疾患の患者さんの日常生活を楽にする」ための理学療法、鍼灸それぞれのアプローチの実技をそれぞれ体験していただきました。本学附属のコスモス治療院に通院されている赤ちゃんをモデ

ルにした小児鍼実技で初めて小児鍼を知った方、慢性閉塞肺疾患(COPD)の怖さを通して呼吸リハビリテーションとツボの関係に東西医療の融合点を見出した方など、両会場が知的好奇心に包まれました。本学オリジナルプログラムは今後ますます進化していきます。ご期待ください。

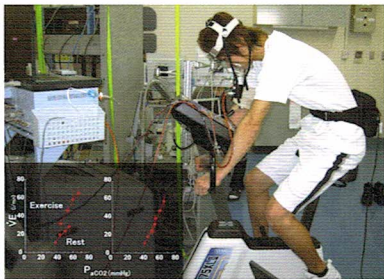
(斎藤恒之)



鍼灸学科で教員免許が取得可能に

2012年度より鍼灸学科で、教員免許が取得できるようになりました。

鍼灸学科では「鍼灸コース」「スポーツ特修コース」の2



コース制を導入。「スポーツ特修コース」では、はり師・きゅう師の国家試験受験資格に加えて、教職課程を履修する

ことで中学校・高等学校の教諭一種免許状(保健体育)が取得できます。鍼灸師と教員免許の2つの資格取得によって、医療や学校教育現場、スポーツ分野などのさまざまな分野において活躍でき、地域医療や地域住民のスポーツ指導・健康増進に貢献できる人材の育成をめざしています。

一方、看護学科では、保健師の資格取得をめざすカリキュラムを選択している学生(各学年10名程度)で、指定された科目を履修すれば、保健師国家試験に合格後、申請によって養護教諭二種免許が取得でき、さらに進路の選択肢が広がることとなります。

(石塚充弘)

地域に開かれた大学をめざし、市民公開講座を開催

6月16日(土)、本学と相互連携協定を締結している大阪府立急性期・総合医療センターとの連携事業により、「治療から社会復帰へのケア-最近の進歩」を主題(全3回シリーズ)とした市民公開講座を開催しました。

この日のテーマは「がん」。大阪府立急性期・総合医療センター副院長で本学の客員教授でもある田中康博先生に基調講演として「がん診療の進歩」についてご講演いただいたほか、「緩和ケアと鍼灸治療」「がん治療と理学療法」「手術治療と看護」と題して本学各学科の教員がそれぞれ講演を行いました。地域の方々を中心に約60名が参加され、講演

中にメモをとられるなど、熱心に聴講されていました。7月22日(日)は「心臓病」、9月23日(日)は「脳卒中」をテーマに開催いたします。

この他にも大学では、各種セミナーや子育て支援活動「もりもりひろば」を開催するなど、地域に開かれた大学として、さまざまな取り組みを行っています。

(金徹)



■ 学生支援室から

■ 平成23年度求人および最終進路状況

平成24年3月に2回目の卒業生を医療現場へ送り出しました。平成23年度につきましては、本学4年生への有効求人倍率が7.5倍と豊富な求人件数でした。また、平成23年度卒業生の最終就職決定率は98%となりました。

平成24年度は、学内合同就職説明会を昨年より早め、8月と12月に開催します。早期の内定取得により、学生が国家試験勉強に集中する環境を整える目的に加え、希望の医療施設に一人でも多くの学生が就職できるよう就職活動をサポートしています。また、鍼灸師、理学療法士だけでなく、すでに先を見据えた看護師および保健師の求人も多く届いております。学生支援室としては、引き続き、学生一人ひとりに即した就職指導の徹底と豊富な求人数の取得に向け、更なる就職支援体

制強化に取り組んで参りたいと考えております。

また、校友会皆様のお勤め先等で、鍼灸師および理学療法士の求人案件がございましたら、森ノ宮医療大学学生支援室(06-6616-6911)までご一報ください。



■ 第6回森ノ港祭(大学祭)を11月4日に開催します

今年で、第6回目の開催となる森ノ港祭(大学祭)が、11月4日(日)10:00より開催されます。昨年は、看護学科の開設により模擬店も過去最高の16店舗が出店し、時折小雨が降るあいにくの天気にもかかわらず500名近い方に來場していただき、大いに盛り上がりました。

今年の大学祭のテーマは、医心伝心です。「医療のこころ(医療の大切さ、医療人とは、医療の現状など)を、こころでつたえる」大学祭にしたいと考えています。昨年以上にパワーアップした森ノ港祭(大学祭)をご覧いただけるよう、タレントステージや、模擬店他、学生音楽ライブ、健康教室など様々な企画をご用意して皆様のお越しをお待ちしております。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



■ 森ノ宮医療大学に売店ができました

平成24年3月に、株式会社三省堂書店のご協力のもと、西棟2階に売店がオープンしました。勉強に必要な教科書や文具、本学指定の実習用具等も取り扱っております。また、学生には欠かせないおにぎりやパン、飲料、お菓子などの品揃えも充実しています。書籍コーナーでは新刊の書籍や雑誌のほかにも、大学の専門性に合わせて医療に関する図書や森ノ宮医療学園出版部のコーナーもご用意しておりますので、ご来校の際はお気軽にお立ち寄りください。

営業時間 …… 月～金曜日/10:00～16:30

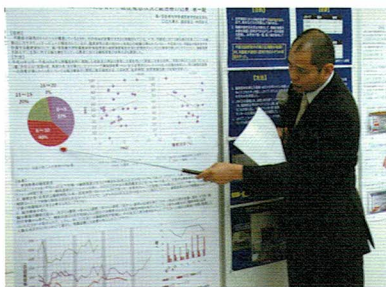
休業日 …… 土曜日・日曜日、夏期休暇・冬期休暇等

場所 …… 森ノ宮医療大学 西棟2階



コスモス治療院だより

森ノ宮医療大学 教授・附属施術所所長 仲西 宏元



本格的な暑さになってまいりましたが、会員の先生方におかれましてはご清祥のことと存じます。新施術所がオープンしてから半年

以上が経過し、スタッフともども地域医療ならびに鍼灸治療の啓蒙に努力をしております。

24年度初めてのイベントとして6月3日(日)に大阪府環境農林水産部企画の「みどりウォーキング・食と健康フェスタ」に参加しました。当日は天候が余り良くないなか、ウォーキング参加者26名に対しまして、はり・きゅう施術を無料で体験していただきました。鍼灸治療を初めて受けられた方からは大変好評

を得ました。

また、6月8日(金)から三重県(四日市市)で開催された第61回全日本鍼灸学会学術大会に施術所として初めて治療スタッフの辻丸が「森ノ宮医療大学附属施術所来院患者の不眠症罹患状況と鍼治療効果」のテーマでポスター報告いたしました。発表後は多くの質問をいただき、今後の臨床研究に活かせる有意義な発表となりました。

施術所では去年の9月より不眠症、特に睡眠障害と自覚的ストレスの関係を明らかにすることと、通常診療による効果についての臨床研究を行っています。現在も継続して実施しております。このような発表を通じて、はり・きゅう コスモス治療院の認知度を高め安定した来診者数を確保し、良質の施術を提供したいと思っております。ご協力よろしくお願い申し上げます。

大学図書館から

司書 井上 洋子

常に進化する図書館を目指して

森ノ宮医療大学附属図書館の5年間の足跡を数字で表すと以下ようになります。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学生数	153	279	417	499	604
貸出冊数	1,178	4,166	7,457	11,145	12,139
レファレンス件数	5	232	510	621	536
文献複写依頼数	33	169	391	498	468
文献複写受付数	1	26	61	62	76

学生数の増加とともに、貸出数やレファレンス件数等が伸びているのが見えてきます。

昨年度から、学生の図書館利用のスキルアップのために情報リテラシー教育にも力を入れ、職員が積極的に外部の研修に出かけて情報収集に努めました。そうしたことが24年度の

基礎ゼミでの図書館ガイダンス(OPAC・医中誌検索)に繋がりました。これはまだ数字として現れてはいませんが、ガイダンス受講学生の意欲的な図書館利用として実を結んでいます。今後も医療系大学附属図書館として利用者支援に取り組んでまいりますので、ご協力よろしく願いいたします。

● 図書のご寄贈ありがとうございました

石川俊明、伊藤徹、上田喜敏、大津尚志、荻原俊男、尾崎朋文、海蔵寺陽子、影井繁一、金尾顕郎、川畑浩久、河村廣幸、久下浩史、経絡治療学会、小山なつ、澤田規、佐伯恵子、坂出祥伸、佐藤寿哲、清水一貴、清水滋、菅野亜紀、住田陽子、高岡裕、柘植浩、東洋はり医学会関西支部、永瀬佳孝、中谷彪、中村允之、橋本浩一、廣橋賢次、藤井優樹、松原勝美、丸山紗代、峯本天令、三宅浩次、宮本忠吉、安田実、山下仁、(社)全国老人保健施設協会、萬代慎逸(五十音順、敬称略)

寄贈図書についてのお願い

校友会員の皆様の暖かいご支援で現在の蔵書数は15,000冊を超え、当初の目的をほぼ達成することができました。今後は刊行後5年以内の医療関係書に限り(鍼灸の貴重書、整形外科関係の稀少本は刊行年に関係なく)受けさせていただきます。また、著書を上梓されました折には、是非ともご寄贈くださいますようお願いいたします。

★お問い合わせ:森ノ宮医療大学附属図書館

Tel:06-6616-6922(直通) 井上・近藤・小松まで

森ノ宮医療学園専門学校

MORINOMIYA COLLEGE

平成23年度卒業生表彰者

鍼灸学科第37期

学校表彰

賞名	クラス	氏名
優秀賞	夜間部	久保田 淳
	医療資格者コース	恒川 大輔
	医療資格者コース	山内健太郎
特別精励賞	昼間部	藤原 孝至
	昼間部	岡田 幹子
	昼間部	大谷 由美
	昼間部	竹内 敦子
	昼間部	松井 行秀
	夜間部	安野 憲司
	夜間部	落合 健太
	夜間部	野上 誠司
精励賞	昼間部	藤縄 美香
	昼間部	岡田 幹子
	夜間部	小松 慎也
	夜間部	井上恵以子
努力賞	医療資格者コース	西原 光将
	医療資格者コース	細見 賢太
	昼間部	山本 圭子
	夜間部	横山 晃浩
みどりの風賞	医療資格者コース	山内健太郎
	昼間部	藤原 孝至
	夜間部	野上 誠司

団体及び業界からの表彰

賞名	クラス	氏名
知事賞	昼間部	石橋 理加
東洋療法学校協会会長賞	昼間部	武本 雄基
日本鍼灸師会長賞	昼間部	吉瀬 寛志
全日本鍼灸マッサージ師会長賞	医療資格者コース	小林 祐旗
全日本鍼灸学会会長賞	医療資格者コース	中村 考志
大阪府鍼灸師会長賞	夜間部	白石 紀仁
大阪府鍼灸マッサージ師会長賞	夜間部	柏 壽香
専修学校教育振興会賞	昼間部	柚木美紀子
大専各賞	昼間部	金子 一寛
	医療資格者コース	室井 康伸
校友会会長賞	夜間部	大越 一樹
	昼間部	片山みのり
卒業研究賞	昼間部	徳山 侑紀
	昼間部	富田 奈央

柔道整復学科第10期

学校表彰

賞名	クラス	氏名
最優秀賞	夜間部	堀 信平
優秀賞	アドバンスコース	宮園なつこ
	昼間部	喜田 英明
	昼間部	岩崎 一直
	昼間部	辰野 徹
特別精励賞	昼間部	辰巳紗斗里
	昼間部	中村 健太
	昼間部	橋本 晃敏
	昼間部	平塚 洋志
	昼間部	藤岡 翔太
	昼間部	松山 大樹
	夜間部	袖山 敦司
	夜間部	谷口 守
精励賞	夜間部	戸谷 潤一
	夜間部	宮嶋 賢典
	アドバンスコース	峰田奈央子
	昼間部	松山 大樹
	昼間部	桐村 昌和
	昼間部	森 亮二
	夜間部	位上 剛史
	夜間部	奥野 勝彦
努力賞	アドバンスコース	足助 麻衣
	昼間部	中村 健太
	昼間部	西村 賢治
	昼間部	渡邊 秀和
	夜間部	犬塚佐智雄
	夜間部	前園 龍二
	アドバンスコース	高橋 宏尚
	アドバンスコース	霞谷 光平
みどりの風賞	昼間部	松山 大樹
	昼間部	柳瀬 徳幸
	夜間部	犬塚佐智雄
	夜間部	山田奈緒子

団体及び業界からの表彰

賞名	クラス	氏名
全国柔道整復学校協会会長賞	昼間部	平塚 洋志
	夜間部	金田 知彦
日本柔道整復師会長賞	アドバンスコース	高橋 宏尚
日本柔道整復接骨医学会	夜間部	岸 俊徳
大阪府柔道整復師会長賞	昼間部	橋本 晃敏
専修学校教育振興会賞	昼間部	孫 潤雅
大専各賞	昼間部	岩崎 一直
	昼間部	村井 修一
校友会会長賞	アドバンスコース	橋村 明弘
	夜間部	徳山 弘隆

平成23年度柔道精励賞

段位	クラス	氏名
初段	アドバンスコース	橋村 明弘
初段		服部 圭司
初段		霞谷 光平
初段		宮園なつこ
初段	昼間部	喜田 英明
初段		辰野 徹
初段		西村 賢治
初段		橋本 晃敏
初段		真保 佳央
初段		河村 英樹
初段		市川 岬
初段		岩武 紀光
初段		西川 悦史
初段		平崎 雄一
初段		芳村 朋秋
初段		杉浦 由美子

段位	クラス	氏名
初段	夜間部	嶋 一人
初段		新井 登
初段		袖山 敦司
初段		津村 知哉
初段		北村 真樹
初段		田中 幸司
初段		位上 剛史
初段		金田 知彦
初段		福島 良
初段		宮嶋 賢典
初段		中村 雅也
初段		近藤 慶
初段		守山 尚子
初段		浅原 和重
初段	丸岡 計斗	
弐段	昼間部	藤岡 翔太

第37回卒業式挙行 ~266人が巣立つ

3月11日(日)にホテル大阪ベイタワーにおいて第37回卒業式が挙行され、鍼灸学科142名、柔道整復学科124名、総勢266名が巣立っていきました。

式では、鍼灸、柔道整復学界からの来賓を始め、保護者、教職員の祝福のなか、安雲和四郎校長より卒業証書が卒業生一人ひとりに手渡されました。また式辞では「昨年、卒業式直前に起こった東日本大震災で多くの命が奪われ、改めて命の尊さや絆が再認識されました。本学園の心は生命への愛と畏敬です。医療人として人の痛みのわかる感性を身につけることは重要であり、大震災を過去のものとして、自らのものとして地域医療に貢献していきましょう。また医療は医療者だけで行うものではなく、患者さんの助けがなければ優れた医療は実現しません。患者さんのことを忘れ独りよがりにならないよう、そして社会の変化にも敏感に対応していく柔軟な姿勢を身につけていきましょう」と励ましの言葉が贈られました。各賞の授賞式では、突然名前を読み上げられた驚きとともに、嬉しさで会場内は一挙に緊張が解け、晴れやかに包まれました。最後に学校生活を切り取ったスナップ写真が映し出されるなか、卒業生たちは誇りと夢や希望を胸に社会に旅立ちました。



式終了後、同会場では先生方への感謝の気持ちを込めて謝恩会が開かれ、卒業生たちは食事を共にしながら先生方との楽しい最後のひとときを過ごしました。

平成24年度 第40回入学式開催 ~330名が仲間入り

4月4日(水)、第40回入学式がアネックス校舎4階講堂にて行われ、鍼灸学科170名、柔道整復学科160名が森ノ宮医療学園専門学校の一員となりました。

式典では浜田暁校友会会長、日根野文三監事をはじめ非常勤講師の先生方、保護者の皆様の見守る中、在校生を代表して柔道整復学科中村友美さんが歓迎の言葉を、それを受けて新入生を代表して吉田翔伍さんが力強く誓いの言葉を述べました。



平成23年度 国家試験合格率

	森ノ宮医療学園専門学校	全国平均
はり師	85.9%	(85.2%)
きゅう師	84.4%	(82.0%)
柔道整復師	97.4%	(92.7%)

森ノ宮医療学園専門学校の平成23年度はり師・きゅう師、柔道整復師の国家試験の合格発表が3月28日に行われ、はり師116名・きゅう師に114名、柔道整復師に112名が合格しました。合格率の全国平均がはり師85.2%、きゅう師82.0%、柔道整復師92.7%となっており、いずれも全国平均を上回る結果でした。

第5回森ノ宮柔道整復学術集會に100名集う

柔道整復学科教員 外林 大輔

5月20日(日)、第5回森ノ宮柔道整復学術集會(森ノ宮柔道整復研究会主催、森ノ宮医療学園校友会後援)が開催され、在校生、卒業生約100名が参加しました。

今回、シンポジウムのテーマを「原点復帰～骨折に対するそれぞれの工夫～」と掲げ、柔道整復師の存在意義を再認識することを目的とし、早川雅成先生(株式会社和穩)には、保存療法に対する工夫という視点から、大森淳次先生(学園附属みどりの風クリニック)には、見逃してはいけない外傷の対処法について、西川知也先生(葉山整骨院)には、骨折における管理指導における工夫についてそれぞれ発表していただきました。そのなかで柔道整復師ならではの見解と記録された数々の整復中の映像や画像に学生だけではなく卒業生も真剣な眼差しで見入っていました。また、一般発表では、卒業生や教員、その他の医療機関の先生の発表があり、会場からも活発な質疑応答が繰り広げられていました。今回の



学術集會を通じて在校生および卒業生の学校との繋がりが深まったのではないのでしょうか。

森ノ宮柔道整復研究会では卒業生を中心に毎月勉強会を開催しています。皆様の参加をお待ちしています。詳細は下記の連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先

森ノ宮柔道整復研究会事務局 担当:伊黒、外林、老後

TEL:06-6976-6889 E-mail:sotuken@morinomiya.ac.jp

第61回全日本鍼灸学会・三重大会に参加して

鍼灸学科教員 櫛引 智裕

『第61回全日本鍼灸学会学術大会』が6月8～10日の3日間、三重県四日市市で開催されました。メインテーマは「患者のための鍼灸学」。今、改めて「患者のため」という原点に立ち返り、様々な分化された専門職や組織の連携・協調のあり方が問われるという視点でのプログラムが多く企画されていました。

本学園からも多数の発表があり、私達も専門学校1年生はりきゅ



筆者(櫛引)

発表する湯谷達氏

う実技授業におけるアンケート調査を報告しました。調査を通して実技授業では、鍼や灸を衛生的かつ安全に施術できることのみならず、患者に心地よさを提供することやホスピタリティーの意識を早い段階から持ち、実践していくことの重要性を再認識しました。

今回特に強く印象に残る発表は、本大学非常勤講師で第21期卒業生・湯谷達氏の腸炎性疾患のモデルマウスに対して鍼治療を実施した結果、腸管の炎症症状が改善し、今後の炎症性疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎など)の補完医療の可能性が示唆されたという内容でした。また湯谷氏の「鍼灸師として、日々の臨床に生きるための研究を続けたい」という一貫して「臨床ありき」の姿勢に感動しました。そして、鍼灸治療が免疫機能に影響することは日常的に経験するとはいえ、それを明らかにする力強い気概に触れ、誇りをもって鍼灸に向き合っている姿がとても眩しく思えました。

学会では先生方が一生懸命に鍼灸に取り組まれていることを肌で感じます。それは、まさに「患者のため」の想いからなのだろうとつくづく心にしました3日間でした。

本校舎セキュリティ開始

情報セキュリティ室 永岡 憲蔵

前号でお知らせした本校舎セキュリティが5月よりスタートしました。施設箇所はB1階エレベーター前及び階段前、1階正面玄関入口の3カ所です。各扉は、学生証・入館許可証をフェリカ端末に接触させ開錠する仕組みとなっています。一般の来校者および許可証のない方はインターホンでの身元確認後に入館をお願いしています。

卒業生をはじめ関係者の皆様には、図書室の利用やセミナー等で来校いただく際に少々ご不便をおかけすることになりますが、どうぞご了承いただき、入館許可証の申請をお願いいたします。申請をいただきましたら、速やかに発行させていただきます。

設備導入を開始してからは、不審者の立ち入りもなくなり、学生たちも安心して勉学に励んでおります。どうぞご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先 ● 情報セキュリティ室:永岡、川鍋 / 管理課:出口、池田



学生支援課から

1 卒業後の日本学生支援機構奨学金の手続きについて

在学中、日本学生支援機構奨学金を受けていた皆さんは、卒業後平成24年10月より奨学金の返還が始まります。返還の手続きにあたっては、特に以下のことに留意してください。なお、手続きに必要な願出用紙は、返還説明会時にお渡しした「返還のてびき」、もしくは、日本学生支援機構のホームページに記載されています。

①住所・氏名・勤務先等が変わったら…

「転居・改氏名・勤務先(変更)届」を必ず日本学生支援機構へ提出してください。

届出がない場合、日本学生支援機構からの重要な通知が届かなくなり、それにより延滞状態となり、結果として、個人情報情報機関に個人情報が登録(※)されることにもなります。

※個人情報情報機関に登録されると、クレジットカードの使用や、ローン等の利用が制限される場合があります。

②返還が困難になったら…

速やかに日本学生支援機構に連絡してください。災害、傷病、失業、経済困難等の事例により奨学金の返還期限が猶予されることがあります。

③進学したら…

大学・大学院・専門学校などに進学した場合、入学した学校に「在学届」を提出することにより在学中は返還期限が猶予されます。例えば、本校の鍼灸学科を卒業→本校の柔道整復学科へ入学した場合も猶予されます。またこの場合、再度奨学金を申し込むこともできます。進学先の指示に従い手続きをしてください。

2 就職・開業支援講座『サマーフェスタ2012』開講

8月8日(水)・9日(木)に『サマーフェスタ2012』と題して就職・開業支援講座(10講座)を開講します。

各分野の第一線で活躍されている方々を講師に、社会人として知っておくべきビジネスマナー、就職活動時に必要な書類作成・面接対策、開業時に役立つホームページ制作・認知度アップ法など、これから就職・転職を考えている方だけでなく、すでに就職・開業をされている方もぜひ受講していただきたい講座です。また医療関係の就職や開業を希望されていない方でも参加できます。

各講師のプロフィール・講座の内容の詳細は本校ホームページに掲載しています。『サマーフェスタ2012』のバナーをクリックしてご覧ください。



講師の
中田真理子氏(左)と
駒井健生氏(右)

開講日・8月8日(水)・9日(木)
定員・各講座30名(先着順)
受講料・在校生 無料(当日、学生証を提示)
卒業生・一般 1講座1,000円(当日、お支払いください)
会場・森ノ宮医療学園専門学校1階(受講教室は当日掲示します)
申込・お名前、ご連絡先、受講希望の講座名を記載してFAX・またはメールsummer2012@morinomiya.ac.jpでお申込みください。※電話でのお申込みはできません。

日	時間	講座名
8月8日(水)	13:00 14:30	90分間で解る!!あなたのホームページに必要なこと。 ◆講師:本庄慶樹(Web Direction *DAISY代表)
	14:40 16:10	『Jimdo』ホームページを作るのに専門知識はいりません ◆講師:駒井健生 (株)KDDIウェブコミュニケーションズ所属 Jimdo Japan カントリーマネージャー)
	15:00 16:30	社会人のマナー・常識特訓講座 ◆講師:大阪職業センター スーツ着用 ※在校生・卒業生のみ受講可
	16:20 17:50	治療家がSNSを活用する為に必要な3つのこと ◆講師:葉坂多恵貴 (パーソナルビジネス・アカデミー 代表ピラティストレーナー)
	18:00 19:30	無料で始める!!「トリプルWEBで認知度UP↑ SNS×ブログ×HP活用術」 ◆講師:坂田純子(健康サポートプロジェクト代表)
	19:40 21:00	鍼灸整骨院 独立開業の魅力 ◆講師:田口貴大(株)船井総合研究所)
	8月9日(木)	13:00 14:30
14:40 16:10		相手の真意をつかむ"聴き方"をマスターしよう ◆講師:三品清次(上六話し方教室)
16:20 17:50		会いたくなる応募書類作成講座 ◆講師:中田真理子 (人材育成・キャリアコンサルタントNPO法人えむ・コムユーズ代表)
18:00 19:30		就活と仕事に役立つ面接対策講座 ◆講師:中田真理子 (人材育成・キャリアコンサルタントNPO法人えむ・コムユーズ代表)

※1講座から受講できます。

上記セミナー、保育園、奨学金についてのご質問等がございましたら、森ノ宮医療学園専門学校 学生支援課 初瀬川、松岡まで。

Tel:06-6976-6889 Fax:06-6973-3133

森ノ宮医療学園専門学校ホームページ <http://www.morinomiya.ac.jp/>

専門学校広報室から

■ ここから始まる社会人への第1歩! 職業体験「OSAKA ジョブミュージアム」

社団法人大阪府専修学校各種学校連合会の企画「OSAKA ジョブミュージアム」は、「大阪全体をミュージアムに見立て、隠れた魅力に光を当て、価値を再発見していこう」という「おおさかミュージアム構想」をヒントに生まれた「職業アセスメントプログラム」です。対象は小学生から社会人までで、職業体験の場として解放された専門学校45校の本格的な施設や設備を使ってさまざまな職業・仕事を体験してもらうものです。高校との連携授業ともなっており、進路指導の一環として高校生が自分の将来について考える良い機会として活用されています。

本校では、まず6月8日(金)に松原市立松原中学校2年生の医療系希望者の生徒さん20名が来校され、柔道整復学科の小笠原宏之先生、鍼灸学科の西田隆先生がそれぞれ柔道整復師、鍼灸師の仕事内容を説明したのち、包帯を使った固定法の実技や治療で使用する鍼に触れてもらいました。鍼の細さには皆驚きの表情でした。

翌9日(土)には、大阪成蹊女子高校3年生の看護栄養系レーン30名の生徒さんが来校され、白衣を着て1階の内科・整形外科、2階のリハビリテーション科、3階の鍼灸院を順番に見学していただきました。さらに本校舎では鍼灸学科弘中昌弘先生、柔道整復学科森美侑紀先生に鍼灸師・柔



女子高校生たちは互いに患者となって初めて体験するお灸に皆興奮

道整復師の仕事をレクチャーしてもらいました。

また6月16日(土)、23日(土)の2日間では大阪成蹊女子高校1年生計69名が来校され、鍼灸学科榎引智裕先生よりお灸についての授業とお灸体験、柔道整復学科小笠原宏之先生による応急手当のレクチャーと三角巾を使った補助を体験してもらいました。

後日いただいた松原中学校の生徒さんのアンケートでは、「先生の包帯を巻く速さはすごいと思った。」「専門学校の体験授業にはあまり乗り気でなかったが、行ってみたいくらいに気持ちが変わった。」「将来の夢がなかった私が、包帯を使う仕事がしたいと親に言って驚かれた。」等、貴重な体験だったことが記されていました。

(浅井行夫)

■ 「高校生のためのスポーツセミナー」

このセミナーはクラブ活動をしている高校生や将来スポーツトレーナーを目指す高校生の皆さんに、本校教員の知識やスキルを伝えていくという目的で始めました。第1回:12/10(土)から始まり、7/22(日)で第10回となります。

第9回の6/3(日)のセミナーでは、第一部で「手と指のテーピング～突き指の正しい対処法～」と題して、bjリーグ大阪エヴェッサのアスレティックトレーナーである西村剛トレーナーをお招きして、「突き指」について、現場で実施している正しい対処方法をテーピングの巻き方も含めて説明していただきました。また、第二部では「応急処置～すり傷から心停止まで～」と題して、スポーツ現場での様々なアクシデントを想定し、すり傷の正しい対処方法を鍼灸学科教員の松下美穂先生に説明していただきました。また、AED(心肺蘇生装置)の正しい扱い方を柔道整復学科教員

の小笠原孝嗣先生に説明していただきました。なかでも心臓マッサージの実践では息が上がるなど予想以上にハードな作業であることに驚かれつつ、正しい応急処置を学ぶことができたこと、大変好評をいただきました。

今後も定期的に様々なテーマを設けてスポーツセミナーを開催していく予定です。高校生に限らず卒業生の皆さんも参加可能ですので、ぜひご参加ください。ホームページからの申込みも可能です。

(永岡憲蔵)



治療室におすすめBook

森ノ宮医療大学附属図書館 司書 井上 洋子

『猫鳴り』
沼田まほかる著/双葉社文庫
550円(税込)



猫のモンとの日々から
見えてくるものは…

猫好き故に手に取り衝撃を受けた一冊である。ただの癒し系の猫物語ではないという点で、読者の期待を見事に裏切り、心をザワザワと落ち着かなくさせる。この作者に共通する、愛すべき者いたわるべき者に対して、容赦なく突き放し酷い仕打ちをする主人公と、それでもそっと寄り添う人間や動物がいる。本書は、捨て猫が中年夫婦と出会い20年後に別れるまでの物語に、近所に住む孤独な少年少女と猫との係わりを挟み込むことで、二重構造のようなふくらみを持たせている。生と死について深く考えさせられ、短編なのに重量感がある。

治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学 大学院教授 永瀬 佳孝

『It Don't Bother Me』
パート・ヤンシュ
レーベル・Sanctuary UK 収録時間・44分
ASIN・B00005AFML



イギリスが流れている。

古代ギリシャから学問の流れがあって、たくさんの方々は流れに乗る方法を身につけている。同じ大学にずっといる人は少ない。常に流動している。それにもかかわらず、誰からも教えられないのに学問の流れに乗る方法を身につけるのである。

メルボルン大学では、名誉教授も研究室を持って研究を続けている。解剖学教室で週に二回行われるセミナーでは、若い研究者が年配の先生の話に熱心に聞いている。短い時間で、複雑な研究成果を簡潔に説明してくれる。学生のときには最も簡潔な言葉であるラテン語を学習することで、文章のトレーニングをする。外国語の学習は母国語を考えるチャンスを与える。日本の大学は経験のある先生が与えてくれる教養や、外国語学習が日本語を考えることになることを忘れていないだろうか。

パート・ヤンシュは、聴き直してみると、イギリスだなと思う。イギリスが流れている。

森ノ宮医療学園出版部 書籍のご案内

季刊誌「鍼灸OSAKA」105号

特集「鍼灸でとらえるからだ」

B5判122ページ 2,039円(税込・送料別)

方法論の多様さから、一見混沌としているように思える日本鍼灸をベースからとらえなおす一その口火を切るものとして企画しました。長年鍼灸臨床に携わってこられた先生方に言葉では表現し難い世界を、あえて言葉にさせていただきました。今だからこそ、東洋医学の身体観をあらためて考えてみてはどうでしょうか。



次号
予告

8月中旬発行予定

106号の特集は「海外で鍼灸師として生きる」(仮題)
B5判120ページ 2,039円(税込・送料別)

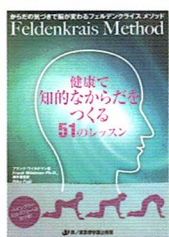
患者さんがいて良い鍼ともぐさがあれば成立する鍼灸。そのグローバルな可能性を活かして海外で活躍する先輩方からの情報やリソースを特集。座談会では国内で鍼灸の可能性を拡大するためのヒントや提案を語っていただきました。

新刊案内

『健康で知的なからだをつくる51のレッスン
～からだの気づきで脳が変わる
フェルデンクライスマソッド～』

フランク・ワイルドマン著/藤井里佳訳
181頁 2,625円(税込)

私たちは無意識にからだを動かしています。その時、脳はどうしているでしょう？ 生まれたての赤ちゃんは自分のからだの動かし方を脳との連動で一つひとつ学んでゆきます。本書は、そのからだに気づかせる感覚を取り戻すためのレッスンのなかから51を紹介。欧米では発達障害等の治療でスタンダードなメソッドです。



『はりきゅうロード
～日本全国、伝統医療の歴史を見て歩こう』

森ノ宮医療学園出版部編
168頁 2,730円(税込)

歴史から現代が見えてくる。史跡や現存する史料、民間に伝承されている祭りや行事には実に多くのことが伝えられています。医療の歴史の奥深さと時代の伊吹、医聖の熱意を感じてください。第一線で活躍されている研究者によるエッセイは良きガイドとなってくれます。



『生きているとは
～看護の本質とこれからの看護』

薄井坦子著 38頁 525円(税込)

23年6月、森ノ宮医療大学看護学科開設記念講演会での薄井坦子先生の講演内容を1冊にまとめました。看護師教育に尽力しつつ、「看護とはなにか」を追求されてきた薄井先生ならではの言葉は、看護論にとどまらず、深く生命観や人間論に及んでいます。東洋医学を志す方々へも示唆に富む内容です。



■ 市民公開講座 医学博士に学ぶ!メディカルアロマ
「アロマでほぐそう!心の疲れ♪」開催!



専門学校柔道整復学科第1期昼間部卒業・同教員 森 美侑紀

6月15・29日、7月5日の3日間、簡単な脳の仕組み～ストレスの起こるメカニズムやストレスと自律神経等、アロマセラピーの脳や心への作用機序から、ストレスや不安、緊張を緩和する精油を講義で紹介しました。また講義後は実際に精油を使った練り石鹸作りを体験してもらいました。各回とも定員を大幅に上回るお申込みで、急遽教室変更やスタッフ増員をするなど嬉しい悲鳴を上げるほどで、3日間の参加人数は計100名を超えました。1時間半という短い時間でしたが、この講座を通して少しでもストレスが和らぎ、心も楽になっていただけたならとても嬉しく思います。

☆好評につき、9月に同内容で追加公演を開催することとなりました!

開催日時:9月21日(金)PM7時～8時半
お申込みはTel:06-6976-6889まで。
詳しくは:専門学校ホームページ
<http://www.morinomiyu.ac.jp/docs/topics/aromaseminar120921.pdf>をご覧ください。

アロマコーディネーター資格取得講座 秋コース 申込み締切り迫る!

9月1日開講。申込み締切りは8月3日です。
詳しくは同封のリーフをご覧ください。



■ TPT(Tension Point Therapy)セミナー

専門学校柔道整復学科第8期夜間部卒業・鍼灸学科医療資格者コース3年生 岡村 徳武

23年7月16日
(土)、専門学校にて
フロリダ代替医療大学

Larry Han先生を講師に迎え、TPTセミナーを開催し、在校生30名が参加しました。

TPTは、捻挫などの際に損傷した組織だけでなく、その周囲にある関連した筋肉や腱などの組織にも治療を施す必要があるという原理に基づくもので、私見では、ある筋の起始部(あるいは停止部)近位の疼痛部位を阿是穴(フォーカスポイント)とすると、その筋の起始部(あるいは停止部)に緊張した反応点があり、その反応点をテンションポイント(TP)とし、治

療においてアプローチするのは阿是穴でなくTPとするもの。疼痛を訴える場合、治療の最大の目的は疼痛の除去であり、初診時に疼痛の20%以上が改善されないとリピーターとならない。このTPTは拒按するのが阿是穴でなく、喜按するTPにアプローチしてゆくため、解剖学の骨格系、筋系の知識は必須ですが、難しい理論も必要でなく、切診即治療となります。

今回のセミナーは3時間という短いなかで、概略的な内容に留まりましたが、マッサージやストレッチとの違い等、示唆に富むもので、参加者は皆、刺激を受けたようです。鍼灸師だけでなく、柔道整復師、理学療法士等コメディカル分野でも大いに期待できる治療法だと思います。

森ノ宮医療大学 学内推薦入試のお知らせ

森ノ宮医療大学卒業生および森ノ宮医療学園専門学校卒業生を対象に、学園内推薦入試を実施します。例えば、森ノ宮医療大学鍼灸学科卒業後、理学療法学科や看護学科へ入学を希望される方、あるいは専門学校卒業後、本大学各学科へ入学を希望される方など、ダブルライセンスを目指す皆さんが対象です。詳細は同封のリーフまたはホームページをご覧ください。

問い合わせ先 森ノ宮医療大学アドミッションセンター Tel:06-6616-6911 Fax:06-6616-6912

桜の花に彩られて
「みどりの風保育園」
開園式!

4月4日(水)13時より本校舎1Fホワイエにて、学内保育園「みどりの風保育園」の開園式を実施しました。専門学校としては全国的に稀な「学内保育園」の開園。学園は学生の皆さんの学業と育児の両立を応援しています。

★お問い合わせは専門学校学生支援課まで。



みどりの風 クリニック だより



みどりの風クリニック

アスリートの パフォーマンス向上をサポート

みどりの風クリニック 院長 宮崎 義雄

第30回オリンピックが7月27日からロンドンで開催されます。日本人選手には是非とも頑張ってくださいと思います。

クリニックには野球・サッカー・陸上選手などたくさんのスポーツ選手に来院していただいています。野球では日本生命・日本新薬・近畿大学などの野球部の選手、サッカーではセレッソ大阪ユースチームの選手、さらにU-17日本代表選手も診察に来てくれました。陸上では専門学校鍼灸学科教員の松下美穂先生のご紹介で、豊田自動織機の選手をはじめ、多くのトップランナーが来院していただいています。

今年8月に行われるロンドン・オリンピック出場選手では、バドミントンミックスダブルス「イケシオ」ペアの池田信太郎選手が、大阪での試合で痛めた肉離れの診察のため来院されました。正直、一緒に潮田選手も生で見えたかったです。会えずに残念でした。

それはさておき、今後もクリニックでは、プロからレクリエーションレベルまで幅広いスポーツ選手を医学的にサポートしていきたいと思っています。

最近多い疾患と漢方医からの アドバイス

みどりの風クリニック 漢方内科 新谷 卓弘

私は来年3月で医師になって30年を迎えます。昭和を代表する漢方医の大塚敬節先生が昭和2年に『皇漢医学』（湯本求真著）に出会って、『漢方診療三十年』を世に著すまでの30年とは雲泥の差がありますが、私なりに振り返ってみました。

漢方外来を訪れる患者さんで一番多いのはメンタル失調（うつや不安など）です。文明が進歩し物が余る時代になってきましたが、炊飯器、洗濯機、掃除機、車などが使えない時代、人々は汗水をたらしながら働いていました。換言すれば、スポーツをよくしていたわけです。

実は、スポーツの語源は「氣晴らし」です。現代人は文明の利器によって有り余る時間を手に入れましたが、反面、いろいろ考えすぎて気を消耗したり、発散することができなくなって、氣虚・氣鬱（抑うつ）や氣逆（不安）といった病態になりやすくなり、無氣力、食欲不振、不眠、便通異常などをきたしやすくなっています。

梅雨を迎え、不快な毎日が続きますが、文明の利器に頼らないで気持ちのいい汗をかいてみませんか。

みどりの風鍼灸院 ～心に残る症例③

みどりの風鍼灸院 中島 茂

反射性交感神経性ジストロフィー(RSD)と診断された1症例

52歳、女性。9カ月前に左母指腱鞘炎の手術を行う。手術後から徐々に、手術痕のピリピリ感と牽引感が出現した。さらに、左手の鈍痛、浮腫、こわばり、熱感・冷感・発汗の不安定症状、左上肢の脱力感が出現した。他病院の精査の結果、医師にRSDと診断される。その後、麻酔科で約7カ月間、左側の星状神経節ブロック(SGB)を行い症状はやや軽減したが、左前頸部注射部位の痛みが出現した。このままSGB治療を継続することが不安になったので当鍼灸院に来院する。約7カ月間に20回の鍼灸治療で症状は改善された。現在も不定期ではあるが治療の継続で症状の再燃は認めていない。

手術や外傷をきっかけに慢性的な痛みと浮腫、皮膚温の異

常、発汗異常などの症状を伴う難治性の慢性疼痛症候群を複合性局所疼痛症候群(CRPS)と呼ぶ。CRPS はRSDとカウザルギーがまとめられた症候群であり、10万人に約5人と比較的稀な発症率である。LankfordのRSD重症度分類においてmajorタイプは“触診不可”、minorタイプは“触診可能”という項目がある。触診可能である状態は鍼灸が施術可能か否かにも深く関わる。本症例は 触診可能な状態であり、鍼灸が施術できる範囲の知覚過敏状態であった。しかし、CRPSの臨床的症状の特徴と症状の進行は個々の患者によってかなり異なると言われている。また、身体的、心理的ストレスも大きい。苛立ち、心配などからの二次的に対しても鍼灸治療は有用性があると実感した。

1例ではあるが、本症例を通じてCRPSに対する鍼灸治療の適応・不適応について再考しなければならないと痛感した心に残る症例である。

学校法人森ノ宮医療学園 平成23年度 決算報告概要

財務資料の内、消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を千円単位で示してあります。

帰属収入26億3711万円、消費支出20億5608万円、帰属収支差額 5億8103万円になります。

注1)表中、(*印)科目は複数の科目をまとめてあります。

注2)表示は、消費収支計算書を主として、資金収支計算書は簡略化してあります。

消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(消費収入の部) (単位:千円)

科目	予算	決算
学生生徒納付金	2,278,330	2,278,740
手数料	23,500	33,791
寄付金	2,500	14,826
補助金	40,000	121,359
資金運用収入	7,400	8,618
事業収入	156,550	166,175
雑収入	11,500	13,600
帰属収入合計	2,519,780	2,637,110
基本金組入額合計	△ 155,066	△ 132,387
消費収入の部合計	2,364,714	2,504,723

(消費支出の部) (単位:千円)

科目	予算	決算
人件費	1,182,889	1,106,628
教員人件費	821,160	795,108
職員人件費	273,069	228,281
役員報酬	12,000	9,374
退職給与引当金繰入額	54,000	70,826
退職金	22,660	3,040
教育研究経費	752,047	703,317
消耗品費	65,805	55,381
光熱水費	39,365	35,898
旅費交通費	6,700	1,936
奨学費	14,800	9,400
福利費	39,914	34,182
通信運搬費	6,226	5,342
印刷製本費	5,473	3,660
保守管理費	47,948	46,327
修繕費	9,091	2,856
損害保険料	2,405	2,027
賃借料	2,280	831
諸会費	4,495	4,234
報酬委託手数料	14,530	13,876
* 渉外費・雑費	500	110
行事費	28,255	26,560
教材費	5,500	5,500
実習費	64,740	52,751
研究費	46,126	26,741
調査費	5,000	578
減価償却額	215,170	252,985
医療経費	127,724	122,143
管理経費	288,387	245,545
消耗品費	9,432	9,150
光熱水費	4,029	3,851
旅費交通費	4,881	1,043
福利費	16,692	16,321
通信運搬費	4,296	3,887
* 保守管理費・損害保険料・賃借料	7,174	6,290
公租公課	6,120	233
修繕費	3,053	2,898
* 諸会費・会議費	2,899	1,382
報酬委託手数料	13,474	12,290
広報費	160,000	142,588
研修研究費	3,767	2,926
* 渉外費・調査費	7,430	5,700
雑費	6,540	6,393
減価償却額	38,600	30,595
資産処分差額	0	591
消費支出の部合計	2,223,323	2,056,081
当年度消費収入超過額	141,391	448,643
前年度繰越消費支出超過額	264,864	264,864
翌年度繰越消費収入超過額	0	183,779
翌年度繰越消費支出超過額	123,473	0

資金収支計算書概要 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(資金収入の部) (単位:千円)

科目	予算	決算
帰属収入合計	2,519,780	2,637,110
前受金収入	995,216	1,043,528
その他の収入	104,493	55,273
資金収入調整勘定	△ 1,047,743	△ 1,059,605
前年度繰越支払資金	2,553,067	2,553,067
収入の部合計	5,124,814	5,229,485

(資金支出の部)

科目	予算	決算
人件費支出	1,128,889	1,041,242
教育研究経費支出	536,877	450,810
管理経費支出	245,787	210,798
施設関係支出	16,625	16,156
建物支出	16,125	15,778
構築物支出	500	378
建設仮勘定支出	0	0
設備関係支出	134,941	116,318
教育研究用機器備品支出	82,833	82,581
その他の機器備品支出	28,794	16,413
診療所機器備品支出	500	231
図書支出	16,314	10,928
車輜支出	0	0
ソフトウェア支出	6,500	6,165
その他の支出	370,675	318,919
資金支出調整勘定	△ 318,708	△ 113,327
次年度繰越支払資金	2,969,728	3,188,568
支出の部合計	5,124,814	5,229,485

貸借対照表概要 平成24年3月31日

(資産の部) (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末
固定資産	8,803,368	8,959,329
有形固定資産	8,764,574	8,925,058
土地	4,573,752	4,573,752
建物	3,459,699	3,564,972
構築物	145,204	158,894
教育研究用機器備品	248,125	160,966
その他の機器備品	40,827	164,927
診療所機器備品	88,163	103,085
図書	207,290	196,362
車輜	1,515	2,101
建設仮勘定	0	0
その他の固定資産	38,794	34,271
収益事業元入金	30,000	30,000
保証金	475	475
ソフトウェア	8,319	3,796
流動資産	3,266,758	2,618,706
現金預金	3,188,568	2,553,067
未収入金	64,388	52,526
貯蔵品	1,076	598
立替金	3,287	1,683
* 前払金・仮払金	9,439	10,832
資産の部合計	12,070,126	11,578,035

(負債の部)

科目	本年度末	前年度末
固定負債	281,662	225,472
退職給与引当金	280,896	215,510
長期未払金	766	9,962
流動負債	1,222,321	1,367,449
未払金	101,728	297,915
前受金	1,043,528	995,216
預り金	77,065	74,318
仮受金	0	0
負債の部合計	1,503,983	1,592,921

(基本金の部)

科目	本年度末	前年度末
第1号基本金	10,243,364	10,122,978
第4号基本金	139,000	127,000
基本金の部合計	10,382,364	10,249,978

(消費収支差額の部)

科目	本年度末	前年度末
翌年度繰越消費収入超過額	183,779	0
翌年度繰越消費支出超過額	0	264,864
消費収支差額の部合計	183,779	△ 264,864
負債・基本金・収支差額の部合計	12,070,126	11,578,035

森ノ宮医療大学 寄付金の募集について



平素は本学の大学運営並びに教育研究事業に格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。また、第1期寄付金募集期間におきましては、多くの方々よりたくさんのご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝の意を表します。

本学は平成19年4月の開学以来、地域医療を担う専門職医療人を育成する大学として教育・研究環境の整備に努めてまいりました。平成23年3月には、第一期生を無事世に送り出すとともに、同年4月には看護学科および大学院保健医療学研究科修士課程をスタートさせ、より多くの優秀な学生や気鋭の研究者が集う大学を目指してきました。さらに、平成24年4月から、鍼灸学科にスポーツ特修コースを設け、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)が取得できる教職課程の認定を受けることができました。このように、今後も引き続き臨床、研究、教育の分野で活躍できる人材を育成する大学として、施設や教育・研究機材の更なる整備が必要不可欠であると考えております。また、在学生や卒業生はもとより、広く地域社会からの要望に応え、より一層魅力あふれる存在意義の明確な大学として広く社会貢献に資するよう、教職員一同、懸命に努力を積み重ね、高度専門医療職業人の養成を柱として邁進していく所存です。

森ノ宮医療学園、森ノ宮医療大学は今後一層、社会の期待に応えてまいりたいと思います。そのためには皆さま方のご協力のもとに、継続的な環境整備と充実を続けていく必要があります。何とぞ寄付金募集の趣旨をご理解くださり、今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、ご寄付いただいた皆様のご芳名は大学にて未長く顕彰させていただきます。

学校法人森ノ宮医療学園 理事長 森 俊豪

森ノ宮医療大学 学長 荻原 俊男

森ノ宮医療大学 施設・設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成23年9月1日～平成24年6月30日 お申込み分(敬称略)

温かいご支援(ご寄付)に心より感謝申し上げます。

校友会会員の皆様をはじめ保護者ならびに関係者の皆様より多くのご寄付を賜り、心より厚く御礼申し上げます。平成23年9月1日より平成24年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載し、感謝の意に代えさせていただきます。今後とも教育の一層の充実発展のために、引き続き多くの皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

- 個人 1万円 …… 矢野次雄(専・卒業生)※(7万円)
…………… 匿名希望(専・卒業生)
…………… 水谷隆文(専・卒業生)
- 80万円 …… 鷲見英法(専・教職員)

● 寄付金累計状況(平成24年6月30日現在) (単位:円)

期 間	寄付金合計額
平成23年9月1日～平成24年6月30日	830,000
平成19年12月1日～平成24年6月30日	39,310,000

●ご芳名は、個人・法人に区分し、金額ごとに掲載いたしました。また2回以上のお申込みの場合は累計金額も掲載させていただきました。●個人のご寄付につきましては、森ノ宮医療学園の理事・監査を(役員)、非常勤講師を含む森ノ宮医療大学ならびに専門学校教員・職員を(教職員)、同じく在校生・卒業生・保護者を(専・卒業生)のように頭に専または大を付して表示しました。●法人のご寄付につきましては、申込書に記載の法人ならびに代表者名を記載しました。※複数回ご寄付いただいた方の累計額を表紙としています。

お問い合わせ：森ノ宮医療大学法人本部／寄付金担当:清水・瀬川 e-mail : kifu@morinomiya-u.ac.jp

平成25年度入試概要

※11月までの実施予定を記載しています。

森ノ宮医療学園専門学校

約40年にわたって培ってきた臨床の森ノ宮の伝統を受け継ぐ医療人に!

オープンキャンパス

8月5日(日) 8月19日(日) 9月17日(月・祝) 10月8日(月・祝) 11月4日(日)

鍼灸学科

[修業年数]3年

午前コース	60名
昼間コース (医療資格者コース含む)	60名
夜間コース	60名

取得資格 はり師・きゅう師国家試験受験資格

柔道整復学科

[修業年数]3年

アドバンスコース	30名
昼間コース	60名
夜間コース	60名

取得資格 柔道整復師国家試験受験資格

入試日程

● 社会人・推薦入試・医療資格者入試

試験日	出願期間
8月 5日(日)	7月17日(火)~ 8月 2日(木)
8月19日(日)	7月30日(月)~ 8月16日(木)
9月17日(月・祝)	8月27日(月)~ 9月13日(木)
10月 8日(月・祝)	9月18日(火)~10月 4日(木)
11月 4日(日)	10月15日(月)~11月 1日(木)

● AO入試

試験日	出願期間
8月5日(日)・8月19日(日) 9月17日(月・祝)・10月8日(月・祝) 11月4日(日)	※AO入試の出願については、入試ガイドあるいはホームページにてご確認ください。

● 高校生入試

試験日	出願期間
10月 8日(月・祝)	10月 1日(月)~10月 4日(木)
11月 4日(日)	10月15日(月)~11月 1日(木)

● モーニング入試(9:30~) ナイター入試(19:30~)

試験日	出願期間
10月17日(水)	9月24日(月)~10月12日(金)
11月21日(水)	10月29日(月)~11月16日(金)

森ノ宮医療大学

技術・知識に加え、人間力を兼ね備えた医療人に!

鍼灸学科 [修業年数]4年

鍼灸コース	60名
スポーツ特修コース	

取得資格

学士/はり師・きゅう師国家試験受験資格
中学校・高等学校教諭一種免許〔保健体育〕
(スポーツ特修コースのみ。教職課程の履修が必要)

理学療法学科 [修業年数]4年

60名

取得資格

学士/理学療法士国家試験受験資格

看護学科 [修業年数]4年

80名

取得資格

学士/看護師・保健師国家試験受験資格
養護教諭二種免許
(所定の科目を履修し、「保健師」資格を取得後、申請が必要)

オープンキャンパス

AO入試対策勉強会同時開催

推薦入試対策勉強会同時開催

鍼灸学科特別オープンキャンパス

8月11日(土)

8月19日(日)

11月4日(日)

9月23日(日)

11月25日(日)

9月22日(土・祝)

推薦入試対策勉強会

10月8日(月・祝)

大学講義・特別見学会

11月4日(日)

大学&入試説明会

入試日程

● AO入試①

試験日	出願期間
9月 2日(日)	8月 9日(木)~ 8月28日(火)

● AO入試②

試験日	出願期間
9月30日(日)	9月10日(月)~ 9月25日(火)

● 公募推薦入試①

試験日	出願期間
10月27日(土)	10月 9日(火)~10月23日(火)

● 公募推薦入試②/特別特待生入試

試験日	出願期間
11月18日(日)	10月29日(火)~11月13日(火)

大学院

専攻	試験日
保健医療学研究科 保健医療学専攻修士課程	9月12日(水)

※大学・大学院の入試日程等詳細は、森ノ宮医療大学アドミッションセンター
Tel:06-6616-6911までお問い合わせください。

各入試の時間および内容、11月以降に実施する入試日程については、ホームページでご確認ください。

専門学校 <http://www.morinomiya.ac.jp/>

大学 <http://www.morinomiya-u.ac.jp/>